

社会人医学教育部門 主催セミナー：「大腸がん」コース

| | 第一日（8月21日） | 第二日（8月22日） |
|----|--|---|
| 午前 | | 9:00-10:30 講義・実習：治療（外科治療、腹腔鏡）腹腔鏡実習 （消化器外科） 10:45-12:00 講義・実習：ストーマ （外科病棟看護師） |
| 昼食 | | 12:00-13:00 昼食：病院食 （栄養マネジメント部） |
| 午後 | 13:30-13:45 オリエンテーション、自己紹介 13:45-14:30 講義：阪大における大腸がん診療の流れ （消化器外科） 14:45-15:30 講義：外科手術 （消化器外科） 15:45-16:30 講義：化学療法 （消化器内科） 16:45-17:30 講義：放射線療法 （放射線科） 17:45-18:30 症例検討会 （消化器外科、消化器内科、放射線科） | 13:00-14:30 講義・実習：内視鏡治療 （消化器内科） 14:45-15:15 患者交流 15:30-16:15 講義：阪大における最新のトピックス （消化器外科） 16:30-17:00 総合討論 （消化器外科、消化器内科、放射線科） 17:00-17:10 修了式 |
| 夕 | 18:45-20:00 懇親会 場所：病院外来棟 14階スカイレストラン | |

アウトラインは下記のページに記載しております。

わが国において大腸がんは増加の一途をたどり、現在では肺がんについて2番目に多いがんです。大腸がんの診療の特徴は手術、抗がん剤、放射線療法の集学的治療が求められることです。今年の米国臨床腫瘍学会では、オキサリプラチン、イリノテカンなど新規抗がん剤に分子標的治療薬のベバシズマブ、セツキシマブを組み合わせる治療法が話題を集めました。抗がん剤治療のめざましい進展は、大腸がんの診療体系の見直しを求めんばかりの勢いです。

本セミナーでは、大腸がんの診療に関わる複数の診療科が最新のトピックスを提供いたします。そして、日常診療の問題点を実感できるように、各種実習（手術、ストーマ、内視鏡）、症例検討、患者さんインタビューを準備しております。多くの方の参加をお待ちしています。